

# 平成 28 年度 決算の主な事業内容について

## 重点項目

---

### 1. 子どもを生き育てたいまち

- **4・5歳児保育料等助成事業** (保護者負担の軽減額 約3億円)  
従来の保育所保育料3割軽減措置に加え、新たに4・5歳児の幼児教育(幼稚園)、保育を完全無料化(給食費相当を除く)。
- **高校3年生までの医療費完全無料化** (2,266万円)  
乳幼児・小児医療費の完全無料化を18歳到達の年度末まで拡大(県内初)
- **妊娠・子育てサポートセンターを設置** (498万円)  
妊娠から出産・子育てや保育相談等までの様々なニーズに対して、窓口を一元化し、切れ目のない子育てワンストップ支援拠点を設置。
- **給食センターの整備** (1,106万円)  
アレルギー除去食対応の給食センターへ建替。延べ床面積約2,100㎡、総事業費12億円。
- **学校トイレの洋式化** (1,917万円)  
5か年計画(総事業費1億円)で全校に一定数の洋式トイレ(温水洗浄機能付き)を整備。
- **小中一貫教育の更なる推進** (6,395万円)  
小中一貫教育における学籍・学力等のデータベース化(統合型一元管理システム)を構築。義務教育9か年を通じた指導体制を強化

### 2. 希望あるまち

- **新産業団地整備事業の推進** (135万円)  
県との共同で、「小野長寿の郷構想」エリア(市場地区)に新産業団地を計画。
- **次世代へつなぐ匠の技継承** (310万円)  
伝統工芸品である播州そろばん、播州刃物等を次世代につなぐための事業。  
播州そろばん組立職人、握り鋏製造職人に対する補助等。

### 3. 選ばれるまち

- **大池総合公園市民広場の整備** (3,057万円)  
「市民広場」をリニューアルし、第39回小野まつりを開催。  
野外ステージ設置のための工事を実施。
- **白雲谷温泉ゆびかの整備** (1,395万円)  
源泉タンク(30t)を追加し一時的な源泉レベル低下に対応。
- **ふるさと小野応援プログラムの推進** (8,842万円)  
H27年10月にリニューアルした「ふるさと小野応援プログラム」を拡充。ふるさと商品の種類を拡大。更なる小野市の魅力を発信。
- **第39回小野まつりへの助成** (4,800万円)
- **第3回小野ハーフマラソン大会への助成** (700万円)

### 4. つながりあるまち

- **庁舎の移転新築** (2,536万円)  
調査設計、造成工事等
- **北播磨総合医療センターの健全経営** (7億7,256万円)  
負担割合 (建設関連経費) 小野：三木=5：5  
(運営関連経費) 小野：三木=4：6
- **浄谷黒川丘陵地の整備** (1億4,963万円)  
災害時には広域避難地ともなる、多目的広場を整備。
- **LED防犯灯の新設** (1,757万円)  
防犯灯倍増計画5000作戦の3年目。(5か年計画)  
平成28年度は764灯設置。
- **コミュニティバスの運行** (7,982万円)  
ノンステップバス6台、ワゴンタイプ1台、デマンドバス1台を配備。  
全10ルートを運行し、交通弱者の移動手段を確保。
- **安全安心パトロールの展開** (5,463万円)
- **地域コミュニティ活動の推進** (2,210万円)

## **5. エイジ・ルネサンス生涯現役のまち**

- **エイジ・ルネサンス・パーティの開催** (381万円)  
65歳を迎える方の第2の成人式を開催。生涯青春、生涯現役を目指す契機とする。  
平成13年から始まり、平成28年度で17回目。
- **地域のきずなづくりへの支援** (775万円)  
自治会の諸活動を支援し、高齢者の生きがいをづくり、地域力の強化、きずなづくりにつなげる。  
平成28年度は69自治会79件に対して助成。
- **こだまの森公園の整備** (2,696万円)  
トイレの増設と改修、駐車場拡張、休憩施設の新設等を行い機能と快適性を高める。
- **シニア世代の社会参加促進** (41万円)  
シニア世代の未来開発セミナーを開催(2回)。セカンドライフ応援セミナー、孫世代の子育て講座に対してそれぞれ59人、65人が受講。
- **シニアサポートモデル事業** (471万円)  
高齢者を中心とした団体の地域活性化等の活動を支援。拠点整備費200万円、運営費50万円/年を上限に補助。平成28年度は新規3団体を含む5団体に対して支援。